

BASFテクニカルシート

分野：芝生管理(芝生用除草剤)

製品：ウェイアップフロアブル(1ℓ×10本)

BASF

We create chemistry

芝への高い安全性と安定した土壌処理効果を持つウェイアップ®フロアブル。 近年の異常気象による高温化で厳しさが増す芝の管理を強力サポート！

近年、気温の上昇や大雨の頻度増加など、気候変動が世界各地で進行しています。気象庁によると、2024年の日本の平均気温の基準値(1991~2020年の30年平均値)からの偏差は+1.48℃で、1898年の統計開始以降、最も高い値となりました。日本の年平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇していて、長期的には100年あたり1.40℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています。

(情報元：気象庁HP https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html)

この高温化により芝の管理は厳しさを増しており、以前と比べて芝の生育状況が悪くなったり、芝がダメージを受けやすくなっています。こういう芝に対しては、芝への安全性の高いウェイアップフロアブルの使用をお勧めします。



気象庁ホームページ

ウェイアップ®フロアブルの特長

- 芝への高い安全性 日本芝、ベントグラスに高い安全性あり。芝草の根部に与える影響が少ない。
- グリーン周りで使用可能 ベントグラスへの登録を有する除草剤と同等の安全性があり、ドリフトによる薬害懸念が少ない。流れ込みや持ち込みの心配が少ない。
- 安定した薬剤処理層の形成 低い水溶解度、高い土壌吸着係数、低い土壌下方移動性→長い残効性

芝への高い安全性

■ コウライシバに対する薬害試験

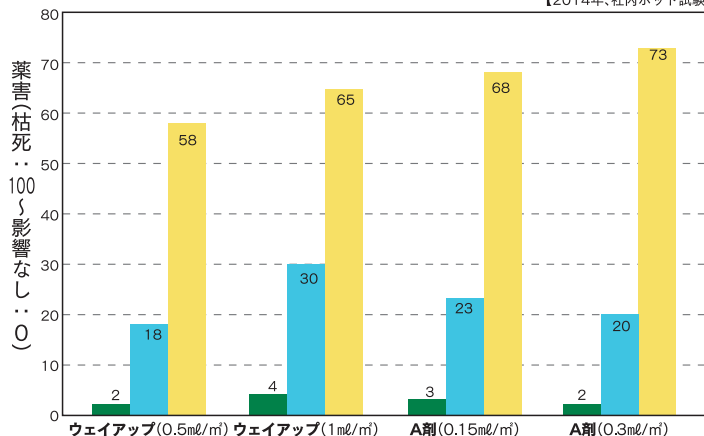
供試薬剤	薬量/m ²	春季1回散布	秋季1回散布	年2回散布
ウェイアップフロアブル	0.4mℓ	薬害無し		
	0.9mℓ			
	1.8mℓ (2倍量)			
A剤	0.3mℓ	影響 中	影響 中	影響 中
	0.6mℓ	影響 大	影響 大	影響 大
B剤	0.24g	薬害無し	影響 大	影響 大
	0.48g	影響 大	影響 大	影響 大

※寒地型洋芝のコース及びグリーンへの散布はできませんが、ベントグラスのグリーン周りでは直接薬液がかからない限り散布可能。
ドリフトやシューズ裏に付着した薬剤による影響もありません。

ウェイアップを年2回(春秋)、1.8mℓ/m²(2倍量)を散布しても薬害は出ず、コウライシバへの高い安全性があることを確認した。

■ ベントグラスに対する薬害試験

【2014年、社内ポット試験】



試験場所：BASFジャパン(株) 田原研究所
供試芝：ベントグラス
薬剤処理日：3月17日

■ 処理後14日
■ 処理後21日
■ 処理後29日

- ウェイアップのベントグラスへの影響は、ベントグラスに登録を有する有効成分を含む除草剤(A剤)と同等
- 安全性が高く、グリーン周りでの使用が可能

■ コウライシバに対する薬害試験(張芝後処理)

〈試験方法〉

張芝後間もないコウライシバに、ウェイアップフロアブルを含むイネ科雑草用の各種土壌処理型除草剤をそれぞれ処理した。薬剤処理後経時的に地上部への影響について観察調査を行い、また薬剤処理78日後にポット床土を洗い流して新根の発生量を観察・調査した。

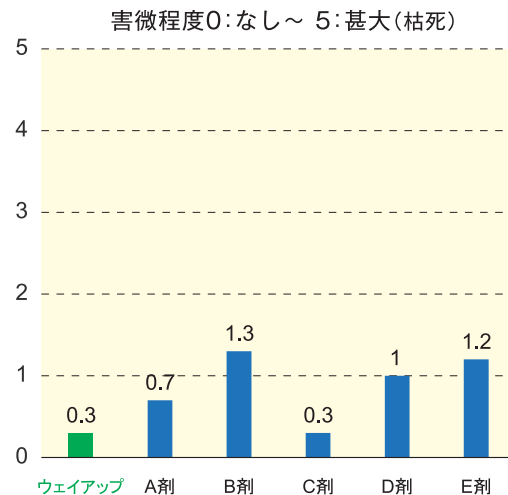
【処理量】：慣行の2倍量(ウェイアップフロアブルは1mℓ/m²) 【散布水量】：200mℓ/m²

〈結果・考察〉

① 地上部(薬剤処理後46日)

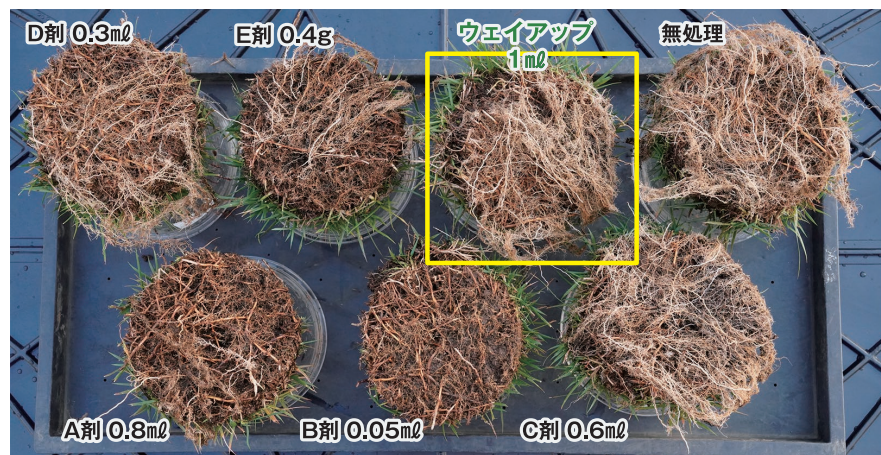


A剤 0.8mℓ B剤 0.05mℓ C剤 0.6mℓ D剤 0.3mℓ E剤 0.4g ウェイアップ 1mℓ 無処理

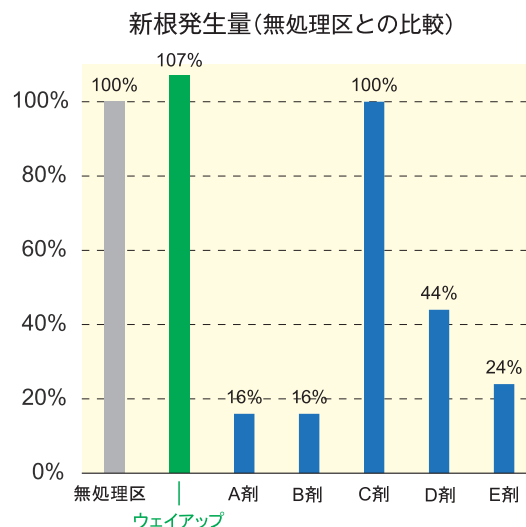


ウェイアップフロアブル区では一時的にごく軽微な生育抑制がみられたが、他の除草剤処理区では明らかな生育抑制が認められ、処理区によっては生育抑制に加えて葉の変色がみられた。

② 根部(薬剤処理後78日)



D剤 0.3mℓ E剤 0.4g ウェイアップ 1mℓ 無処理
A剤 0.8mℓ B剤 0.05mℓ C剤 0.6mℓ



土壌処理型除草剤の種類によって新根の発根に対する影響が大きく異なった。ウェイアップフロアブル区では影響はみられず、新根量は無処理区並みであった。他の除草剤区ではいずれも新根の発生は僅かであり、区によっては著しい影響が認められた。ウェイアップフロアブルのコウライシバに対する安全性は、他の土壌処理型除草剤に比べて高いと考えられる。

《推奨・留意事項》

ウェイアップフロアブルの張芝直後の使用を推奨するものではありません。

張芝に使用する際、芝への安全性をより確保するため芝の活着*を確認してから使用するようにしてください。

*張芝を上から軽く引っ張ってみて抜けない程度になった芝の状態

また、張芝前の処理(除草剤に根が直接接触するような条件)では、発根への影響が懸念されるため使用は避けてください。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://turf-ornamentals.basf.co.jp/>

ウェイアップ®フロアブルの
製品情報はこちらから



BASF-0847